

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【四半期会計期間】	第86期第2四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 溝口 康博
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354 - 5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354 - 5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都調布市小島町一丁目32番2号 京王調布小島町ビル） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第85期 第2四半期 連結累計期間	第86期 第2四半期 連結累計期間	第85期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	37,597,170	37,605,008	73,185,922
経常利益 (千円)	342,816	1,743,876	981,216
四半期(当期)純利益 (千円)	2,352,194	1,239,417	2,582,929
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	262,129	1,677,372	417,356
純資産額 (千円)	19,789,694	21,589,819	19,563,232
総資産額 (千円)	45,067,079	45,496,586	43,193,206
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	124.90	65.82	137.16
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	43.9	47.5	45.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	53,854	422,555	216,661
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,932,124	238,589	3,581,249
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,029,081	321,538	3,434,090
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	829,111	665,146	802,718

回次	第85期 第2四半期 連結会計期間	第86期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	121.93	34.64

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高は消費税等は含みません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社に異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

平成26年3月期の有価証券報告書（平成26年6月26日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況及びキャッシュ・フローの状況

##### 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、消費税率の改定にともなう前期末での駆け込み需要の影響を最小化するため、「野菜をおいしくシーチキン」キャンペーンなどを実施し、消費者の需要喚起に努めました。

この結果、売上高は376億5百万円と前年同期並みに踏み留まりました。利益面では、主原料のきはだ鮭・かつお価格が比較的安定して推移したことや、前期より実施した製品の価格改定が定着したことなどにより、営業利益は16億45百万円（前年同期は89百万円）、経常利益は17億43百万円（前年同期は3億42百万円）となりました。四半期純利益は前年同期に計上した投資有価証券売却益が減少したことにより12億39百万円（前年同期は23億52百万円）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

（単位：千円、％）

製品群			前第2四半期		当第2四半期		増減	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	率
製品	家庭用食品	ツナ	16,144,904	42.9	16,157,309	43.0	12,405	0.1
		デザート	2,476,473	6.6	2,432,812	6.5	43,661	1.8
		パスタ&ソース	3,535,604	9.4	3,497,210	9.3	38,393	1.1
		総菜	3,345,572	8.9	3,344,277	8.9	1,294	0.0
		削りぶし・海苔・ふりかけ類	2,449,118	6.5	2,594,365	6.9	145,246	5.9
		ギフトセット・その他食品	2,046,583	5.5	1,869,975	5.0	176,608	8.6
		計	29,998,256	79.8	29,895,951	79.6	102,305	0.3
	業務用食品	6,295,662	16.7	6,564,644	17.4	268,982	4.3	
	ペットフード・バイオ他	974,936	2.6	851,565	2.2	123,370	12.7	
	計	37,268,855	99.1	37,312,160	99.2	43,305	0.1	
その他	328,315	0.9	292,848	0.8	35,467	10.8		
合計	37,597,170	100.0	37,605,008	100.0	7,838	0.0		

（注）上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、きはだ鮭製品が減少しましたが、かつお製品や、「一本釣り」のびんなが鮭製品が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比0.1%増加しました。

「デザート」では、「朝からフルーツ」が低調だったため、売上高は前年同期比1.8%減少しました。

「パスタ&ソース」では、消費者キャンペーン等の実施によりスパゲッティ（結束タイプ）は堅調でしたが、小売店での販売促進の機会が減少したパスタソースが低調で、売上高は前年同期比1.1%減少しました。

「総菜」では、「さんまで健康」・「さばで健康」パウチシリーズや「シャキッとコーン」が増加した一方で、「はごろも煮」などが減少し、売上高は前年同期並みでした。

「削りぶし・海苔・ふりかけ類」では、噛み切りやすい海苔の「かみきれ〜」や、ふりかけが好調で、売上高は前年同期比5.9%増加しました。

「ギフトセット・その他食品」では、ギフトセットが振るわず、売上高は前年同期比8.6%減少しました。

「業務用食品」では、引き続きCVS向けのツナ・スイートコーンやデザートが好調に推移し、売上高は前年同期比4.3%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、輸入品から国産製品へのシフトを進めたペットフードが減少したことにより、売上高は前年同期比12.7%減少しました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、1億37百万円減少し、6億65百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は4億22百万円（前年同期は53百万円の増加）となりました。これは主に、たな卸資産が増加したものの、税金等調整前四半期純利益の計上やその他の引当金が増加したことによるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は2億38百万円（前年同期は19億32百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得支出によるものです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動により減少した資金は3億21百万円（前年同期は20億29百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払や長期借入金の返済によるものです。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、84,997千円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	20,650,731	-	1,441,669	-	942,292

## (6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
公益財団法人はごろも教育研究奨励会	静岡県静岡市清水区辻 1 - 1 - 1	8,783	42.53
はごろも高翔会	静岡県清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	1,350	6.53
後藤康雄	静岡県静岡市清水区	1,300	6.29
株式会社静岡銀行	静岡県静岡市葵区呉服町 1 - 10	583	2.82
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町 1 - 13 - 2	583	2.82
はごろもフーズ従業員持株会	静岡県静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	358	1.73
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋 2 - 5 - 2	300	1.45
木内建設株式会社	静岡県静岡市駿河区国吉田 1 - 7 - 37	270	1.30
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町 1 - 2 - 1	210	1.01
後藤清雄	静岡県静岡市駿河区	192	0.93
計	-	13,932	67.46

(注) 上記のほか、自己株式が1,821千株あります。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,821,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,732,000	18,732	-
単元未満株式 (注)	普通株式 97,731	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	-	-
総株主の議決権	-	18,732	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式404株が含まれています。

## 【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡県静岡市 清水区島崎町151	1,821,000	-	1,821,000	8.81
計	-	1,821,000	-	1,821,000	8.81

(注) 第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は1,821,404株です。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	802,718	665,146
受取手形及び売掛金	15,578,650	15,721,557
商品及び製品	4,774,281	6,414,829
仕掛品	76,174	77,294
原材料及び貯蔵品	2,733,282	3,583,584
その他	2,887,749	2,182,494
貸倒引当金	1,628	8,839
流動資産合計	26,851,230	28,636,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,463,267	4,317,941
土地	3,539,242	3,539,242
その他(純額)	1,624,422	1,650,955
有形固定資産合計	9,626,933	9,508,139
無形固定資産		
463,321	459,013	
投資その他の資産		
投資有価証券	6,013,998	6,605,782
その他	251,259	300,560
貸倒引当金	13,536	12,976
投資その他の資産合計	6,251,720	6,893,366
固定資産合計	16,341,975	16,860,518
資産合計	43,193,206	45,496,586
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,601,283	12,797,459
1年内返済予定の長期借入金	280,000	280,000
未払金	3,782,345	2,352,855
未払法人税等	853,954	638,655
売上割戻引当金	29,884	50,602
販売促進引当金	3,747	1,182,676
賞与引当金	353,065	362,186
その他	673,952	675,871
流動負債合計	17,578,232	18,340,307
固定負債		
長期借入金	2,910,000	2,770,000
役員退職慰労引当金	659,085	661,836
退職給付に係る負債	939,377	447,041
資産除去債務	16,792	16,960
その他	1,526,485	1,670,621
固定負債合計	6,051,741	5,566,459
負債合計	23,629,973	23,906,766

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,429	942,429
利益剰余金	17,684,884	19,274,704
自己株式	2,151,690	2,152,877
株主資本合計	17,917,292	19,505,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,051,025	2,442,826
繰延ヘッジ損益	3,403	79,908
為替換算調整勘定	162,485	209,452
退職給付に係る調整累計額	239,197	229,387
その他の包括利益累計額合計	1,645,939	2,083,894
純資産合計	19,563,232	21,589,819
負債純資産合計	43,193,206	45,496,586

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
売上高	37,597,170	37,605,008
売上原価	25,766,241	24,297,837
売上総利益	11,830,928	13,307,171
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 11,741,401	<sup>1</sup> 11,661,956
営業利益	89,527	1,645,215
営業外収益		
受取利息	107	72
受取配当金	148,521	60,366
持分法による投資利益	68,602	28,068
賃貸料収入	40,494	42,278
その他	74,711	28,746
営業外収益合計	332,435	159,532
営業外費用		
支払利息	25,715	17,407
売上債権売却損	7,139	425
賃貸収入原価	35,238	26,848
たな卸資産処分損	822	802
その他	10,230	15,388
営業外費用合計	79,147	60,871
経常利益	342,816	1,743,876
特別利益		
固定資産売却益	68,802	-
投資有価証券売却益	2,728,480	19
受取補償金	-	<sup>2</sup> 128,292
特別利益合計	2,797,283	128,312
特別損失		
固定資産除却損	7,991	564
投資有価証券売却損	3,748	-
ゴルフ会員権売却損	1,000	-
特別損失合計	12,739	564
税金等調整前四半期純利益	3,127,360	1,871,624
法人税等	775,165	632,206
少数株主損益調整前四半期純利益	2,352,194	1,239,417
四半期純利益	2,352,194	1,239,417

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,352,194	1,239,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,165,196	391,800
繰延ヘッジ損益	125,532	83,311
退職給付に係る調整額	-	1,204
持分法適用会社に対する持分相当額	200,665	35,952
その他の包括利益合計	2,090,064	437,954
四半期包括利益	262,129	1,677,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,129	1,677,372
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,127,360	1,871,624
減価償却費	593,498	367,853
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,545	6,651
その他の引当金の増減額(は減少)	1,215,172	1,211,519
受取利息及び受取配当金	148,628	60,439
支払利息	25,715	17,407
為替差損益(は益)	195	115
持分法による投資損益(は益)	68,602	28,068
投資有価証券売却損益(は益)	2,724,732	19
受取補償金	-	128,292
売上債権の増減額(は増加)	1,456,250	142,906
たな卸資産の増減額(は増加)	84,066	2,580,245
未収入金の増減額(は増加)	197,919	611,725
仕入債務の増減額(は減少)	600,200	1,196,175
未払金の増減額(は減少)	1,415,607	1,371,878
その他	87,864	4,119
小計	52,507	975,110
利息及び配当金の受取額	148,279	60,439
利息の支払額	23,299	17,844
法人税等の支払額	28,494	836,683
法人税等の還付額	9,876	-
補償金の受取額	-	241,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,854	422,555
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	979,915	159,386
投資有価証券の取得による支出	8,282	2,183
投資有価証券の売却による収入	2,818,348	160
貸付金の回収による収入	3,918	1,512
その他	98,056	78,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,932,124	238,589
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,300,000	-
長期借入れによる収入	1,700,000	-
長期借入金の返済による支出	1,270,000	140,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	16,463	39,123
自己株式の取得による支出	1,371	1,186
配当金の支払額	141,246	141,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,029,081	321,538
現金及び現金同等物に係る換算差額	147	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	43,249	137,572
現金及び現金同等物の期首残高	872,361	802,718
現金及び現金同等物の四半期末残高	829,111	665,146

【注記事項】

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に近似した年数にもとづく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更にもとまう影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が491,630千円減少し、利益剰余金が491,630千円増加しています。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,838千円増加しています。

(資材の有償支給に係る受取手数料の会計処理の変更)

従来、営業外収益の受取手数料に含めていた資材の有償支給に係る受取手数料について、第1四半期連結会計期間より、売上原価から控除する方法に変更しました。この変更は、第1四半期連結会計期間より行った製品群別に統合した組織体系への変更にもとまない、損益管理および経営成績をより明確化するために行ったものです。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっています。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上原価が181,146千円減少し、営業損失が同額減少したことにより、営業利益89,527千円となりましたが、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
販売奨励金	6,672,565千円	6,352,836千円
販売促進引当金繰入額	1,100,260	1,178,928
広告宣伝費	123,399	256,563
荷造運賃	1,013,142	988,815
給料及び手当	736,669	772,470

2 受取補償金

当社グループは、前連結会計年度より缶詰製品「シーチキンマイルド」シリーズの一部を自主回収しています。

当第2四半期連結累計期間における当該製品の自主回収にもとまない、当社仕入先との合意にもとづく逸失利益相当額を受取補償金に計上しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	829,111千円	665,146千円
現金及び現金同等物	829,111	665,146

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成25年6月27日の第84期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,246千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成25年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成25年6月28日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

平成25年11月12日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,236千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成25年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成25年12月5日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成26年6月26日の第85期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,228千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成26年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成26年6月27日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

平成26年11月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,219千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成26年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成26年12月5日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

(金融商品関係)

未払金およびデリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度(平成26年3月31日)

科目	連結貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)未払金	3,782,345	3,782,345	-
(2)デリバティブ取引( )	(5,222)	(5,222)	-

( )デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については( )で示しています。

当第2四半期連結会計期間(平成26年9月30日)

科目	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)未払金	2,352,855	2,352,855	-
(2)デリバティブ取引( )	122,634	122,634	-

( )デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しています。

(注)金融商品の時価の算定方法

(1)未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(2)デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等にもとづき算定しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	124円90銭	65円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	2,352,194	1,239,417
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	2,352,194	1,239,417
普通株式の期中平均株式数(株)	18,831,957	18,829,954

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2【その他】

平成26年11月14日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

(イ)中間配当による配当金の総額 141,219千円

(ロ)1株当たりの金額 7円50銭

(ハ)支払請求の効力発生日および支払開始日 平成26年12月5日

(注)平成26年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月7日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員 公認会計士 木本 恵輔  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 貴志 豊  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。